

株主メモ	
決算期	3月末日(年1回)
定時株主総会	6月中
基準日	3月末日 臨時株主総会の開催その他必要があるときはあらかじめ公告して定めます。
権利確定日	利益配当金 毎年3月31日
株主名簿管理人	大阪府中央区北浜四丁目5番3号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
同事務取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告の方法	当社のホームページに掲載します。 http://www.via-hd.co.jp/
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
証券・銘柄コード	7918



第70期 事業報告書

2005年4月1日～2006年3月31日



ホームページではこの事業報告書のほか、ヴィアグループに関する最新情報をリアルタイムで公開しております。ぜひご覧ください。

<http://www.via-hd.co.jp/>

株式会社 ヴィア・ホールディングス
〒112-0014 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6801



横川紀夫が代表取締役会長兼最高経営責任者(CEO)に、
三甲野隆優が代表取締役社長兼最高執行責任者(COO)に
就任いたしました。

2006年4月1日、株式会社ヴィア・ホールディングスは横川紀夫をCEO、三甲野隆優をCOOとする新体制に移行しました。
2010年のグループ目標(売上高1000億円、経常利益100億円)の達成に向けて、
当社がホールディングカンパニーとしての機能を十全に発揮し、
グループ各社のパフォーマンスに貢献するよう、努めてまいります。

未来へ。 布石打ち続けた一年

国内経済は緩やかな回復軌道に乗り、腰の重かった個人消費も底打ちから反転への手応えを随所に感じさせております。経済が全体の危機を脱しつつある今、日本は再び、個々のライフスタイルの充実を積極的なテーマとして語る時を迎えたと申し上げられるでしょう。

マクロ環境の変化も追い風に受け、「衣・食・住・遊・知」の広範な消費を事業対象とするヴィアグループは当期、事業体制の充実と業容拡充の双方において、売上高1000億円達成を当面の目標とするグループの未来に必要な布石を打ってまいりました。

事業会社の代表的な動きを振り返りましても、外食の主柱「備長扇屋」はほぼ計画通りの出店を進め、2006年6月時点で予定通り300店舗に到達しております。一方の印刷関連事業等の核である暁印刷は、「情報加工企業」という事業コンセプトに確かな指針を見出しております。さらに、大量定年時代の市場開拓を図るコミュニティ型居酒屋「御歌囃子」、健康事業参入の先陣を切る新型フィットネス「スリム・ア



ンド・トーン」、新テナントブランド「グランマタン」、新業態「マヤマイヤイ」、キャラクター玩具の開発など、当期までに準備を進めた新事業がすでに、次、その次の展開を目指して始動しております。

他方、当社ヴィア・ホールディングスは外食、デジタル関連各一社の傘下吸収に成功し、事業開発専門会社も設立いたしました。70歳までの再雇用を制度化した「エイジフリー制度」は、人材活用と従業員が安心できる生活設計、そして“元気な高齢化社会”への貢献をいち早く実現するものとして、実業界の広く注目するところとなりました。

バブル経済とその崩壊を経た個人の消費スタイルは今、「本物か。妥当か」を峻別するスタイルに深化しております。私たちは消費者の声に耳を傾け、グループのシナジー効果を発揮し、お客様、そして株主の皆様のご期待に添える存在であり続けるよう、精進、邁進することを固くお約束いたします。

株式会社ヴィア・ホールディングス
代表取締役会長兼最高経営責任者(CEO)

横川 紀夫

代表取締役社長兼最高執行責任者(COO)

三甲野 隆優



TOPICS 1

扇屋300店舗達成！

順調に店舗が増える「備長扇屋」。2006年6月に計画通り「全国300店舗」を達成しました。着実に500店舗の目標に近づいています。



TOPICS 2

スリム・アンド・トーン

女性のために開発された米国のフィットネス・ブランド「スリム・アンド・トーン」。所要時間30分のプログラムに“本気”と“お手軽”が同居する「コンビニ感覚のフィットネス」です。本家は2002年からおよそ5年で全米150店舗に成長、N B Kは5年後の2010年度には100店舗まで拡大する計画です。身体も脳もアンチエイジングを目指します。



TOPICS 3

ビバリー

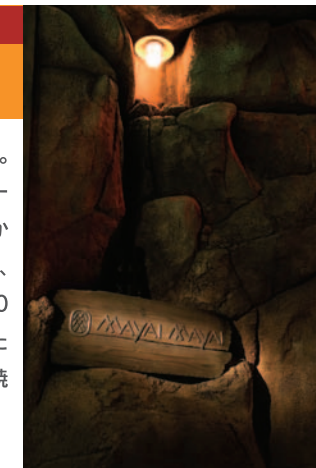
ピザ、パスタをメインに300種のドリンク、そしてランチ。個室も備え、味・価格・雰囲気のバランスに優れた“使いやすい店”ビバリーは2005年7月から展開中です。



TOPICS 4

マヤイマヤイ

マヤイはスワヒリ語で「たまご」。アフリカをモチーフとしたテーマパークのような内装と柔らかなたまごカーブのテーブル席で、本格的鉄板焼・お好み焼きと120種類のドリンクをお楽しみいただく全く新しい鉄板焼・お好み焼き居酒屋の誕生です。



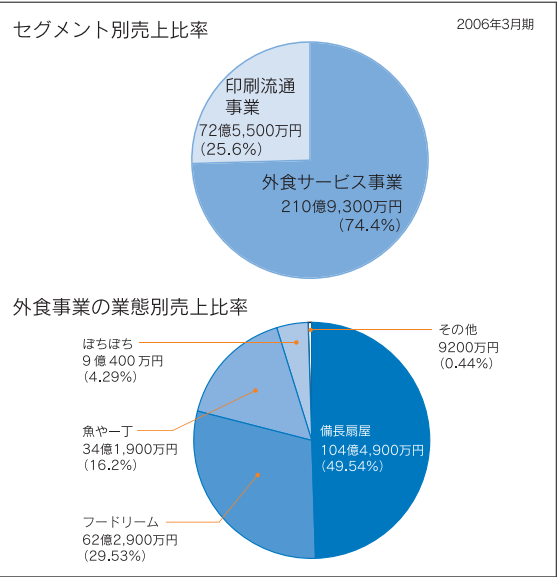
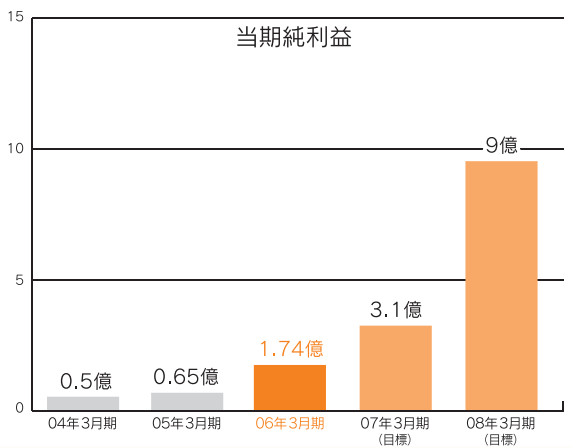
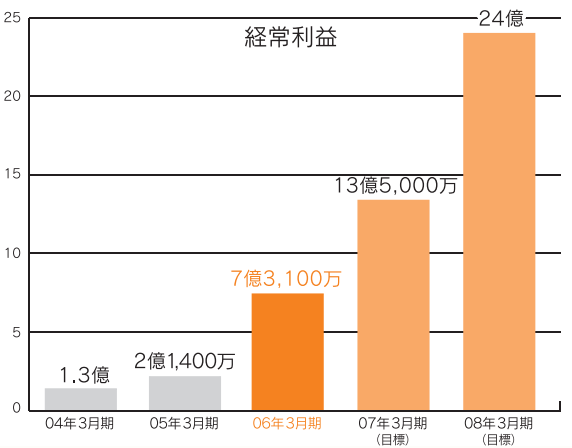
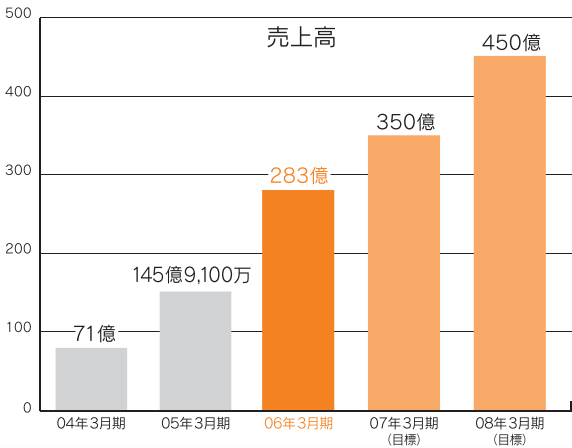
TOPICS 5

エイジフリー制度導入！

2006年度から導入したエイジフリー制度。培った技術・経験を最長70歳まで活かせます。本人にもグループにも大きなメリットです。

2006年3月期連結決算は、
売上高**283億4,900万円**、
経常利益**7億3,100万円**を達成。

2007年3月期は、
売上高**350億円**(前期比23.5%増)、
経常利益**13億5,000万円**(前期比1.8倍)を目指します。



連結財政状態	
総資産	238.8億円
株主資本	62.7億円
株主資本比率	26.3%

業績の概況

当期の当社グループは安定的な成長と企業価値の向上を目指して当社の純粋持株会社化、傘下企業の完全子会社化など経営と執行の分離、経営資源の集約と配分を主体に組織の再編を行いました。また新たに二社を完全子会社化したほか、新規事業開発担当子会社の設立など業容の拡充に努めました。

外食事業では顧客の変化への対応を重点課題として、既存店の充実、規模の拡大、安心・安全・健康な食材の追求と調達――などを基本に展開いたしました。「備長扇屋」は首都圏・近畿圏でドミナントを確立し、北海道と九州にも拠点的出店を果たすなど積極的に多店舗化を進めました。大手スーパーやショッピングセンターでテナント展開

するインショップ(「オープン亭」、「双囀亭」、「ベッラベ〜ラ」等)は既存店の活性化・収益向上を重点に展開し、都心型駅前立地中心の出店に切り替えた「ほちほち」は店舗マネジメントと収益効率の強化に、新規に傘下の「魚や一丁」は営業時間延長など既存店収益力の強化に、それぞれ取り組みました。

印刷流通事業では、既存客への営業深耕、定期刊行物の受注増、生産効率改善さらに電子化への対応も進めました。

当社グループの当期業績は、連結売上高28,349百万円、連結営業利益798百万円、連結経常利益731百万円、連結当期純利益174百万円と大幅な増収増益となりました。

次期の見通し

当社グループでは企業集団組成の経営効果を発揮するため、経営と執行の分離を明確化しています。

次期の見通しとして、第一には期中にグループに迎えた連結子会社(株式会社一丁、株式会社ワールドプランニング)の売上高が通期で寄与します。さらに外食サービス事業は当期中の新規出店売上高も通期となります。次期の新規出店計画のうち、「備長扇屋」では新商勢圏を中心に年間70店舗、「魚や一丁」では新しいメニューと組織の導入・定着に続いて中規模店舗の展開を進めます。

一方、印刷流通事業関連ではデジタル化の技術導入を拡大しながら情報加工企業としての株式会社晁印刷と株式会社ワールドプランニ

ングとのコラボレーションを図り、既存取引先の潜在ニーズと新規取引先の開拓を目指します。株式会社日本システムは、エンターテインメントを目指したビジネスの展開を進めます。

新事業の実験店を運営している株式会社NBKは、健康事業の一環として30分のサーキットトレーニングによるコンビニ感覚のフィットネスクラブで、新しいビジネス展開を始めます。また、事業領域内でのM&Aは、ニーズと規模を計りながら積極的に進めます。

次期業績は既存事業の拡大と新規事業の展開を含め、連結売上高35,000百万円、連結経常利益1,350百万円、連結当期純利益310百万円をそれぞれ見込んでおります。

VIA GROUP



VIA HOLDINGS INC.
株式会社 ヴィア・ホールディングス

所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6801
設立 1948年2月26日
代表者 代表取締役会長兼CEO 横川紀夫
代表取締役社長兼COO 三甲野隆俊



株式会社 扇屋コーポレーション

所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6926
設立 2001年7月2日
代表者 代表取締役社長 大場典彦
事業内容 焼鳥居酒屋「総本家備長扇屋」の展開



株式会社 フードリーム

所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6832
設立 2001年7月1日
代表者 代表取締役社長 福井基博
事業内容 SC内を中心とした外食店舗の展開
(双鷗亭・オープン亭・ベッラベーラ・グランマタン他)



株式会社 ぼちぼち

所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6890
設立 2005年4月1日
代表者 代表取締役社長 廣瀬雅孝
事業内容 鉄板お好み焼居酒屋「ぼちぼち」の展開



株式会社 一丁

所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6812
設立 1978年12月14日
代表者 代表取締役社長 大場典彦
事業内容 刺身居酒屋「魚や一丁」の展開



株式会社 映印刷

所在地 東京都文京区関口1-44-4
TEL.03-3268-3155
設立 2005年4月1日
代表者 代表取締役社長 中野二朗
事業内容 書籍・雑誌印刷、商業印刷、生分解性プラスチックテグラ・ノボン販売
物流流通資材卸売



株式会社 日キシステム

所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6805
設立 1986年7月30日
代表者 代表取締役社長 阪本節雄
事業内容 アミューズメント機器の仕入



株式会社 ワールドプランニング

所在地 東京都千代田区三崎町3-1-5 神田三崎町ビル
TEL.03-3556-6101
設立 1989年3月4日
代表者 代表取締役社長 利光伸之
事業内容 デジタル情報の企画・制作加工、システム開発
印刷物の企画・制作全般



株式会社 NBK

所在地 東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F
TEL.03-5155-6813
設立 2006年1月10日
代表者 代表取締役社長 横川紀夫
事業内容 新規事業開発、御歌囃子、Slim & Tone の運営

コーポレーション別業績目標

次期(2007年3月期)

	売上高
扇屋コーポレーション	133.0
フードリーム	64.0
ぼちぼち	13.0
一丁	45.0
暁印刷	61.0
日本システム	25.0
ワールドプランニング	7.5
NBK	1.5
その他	-
ホールディングス	9.6
調整勘定	△9.6
計	350.0

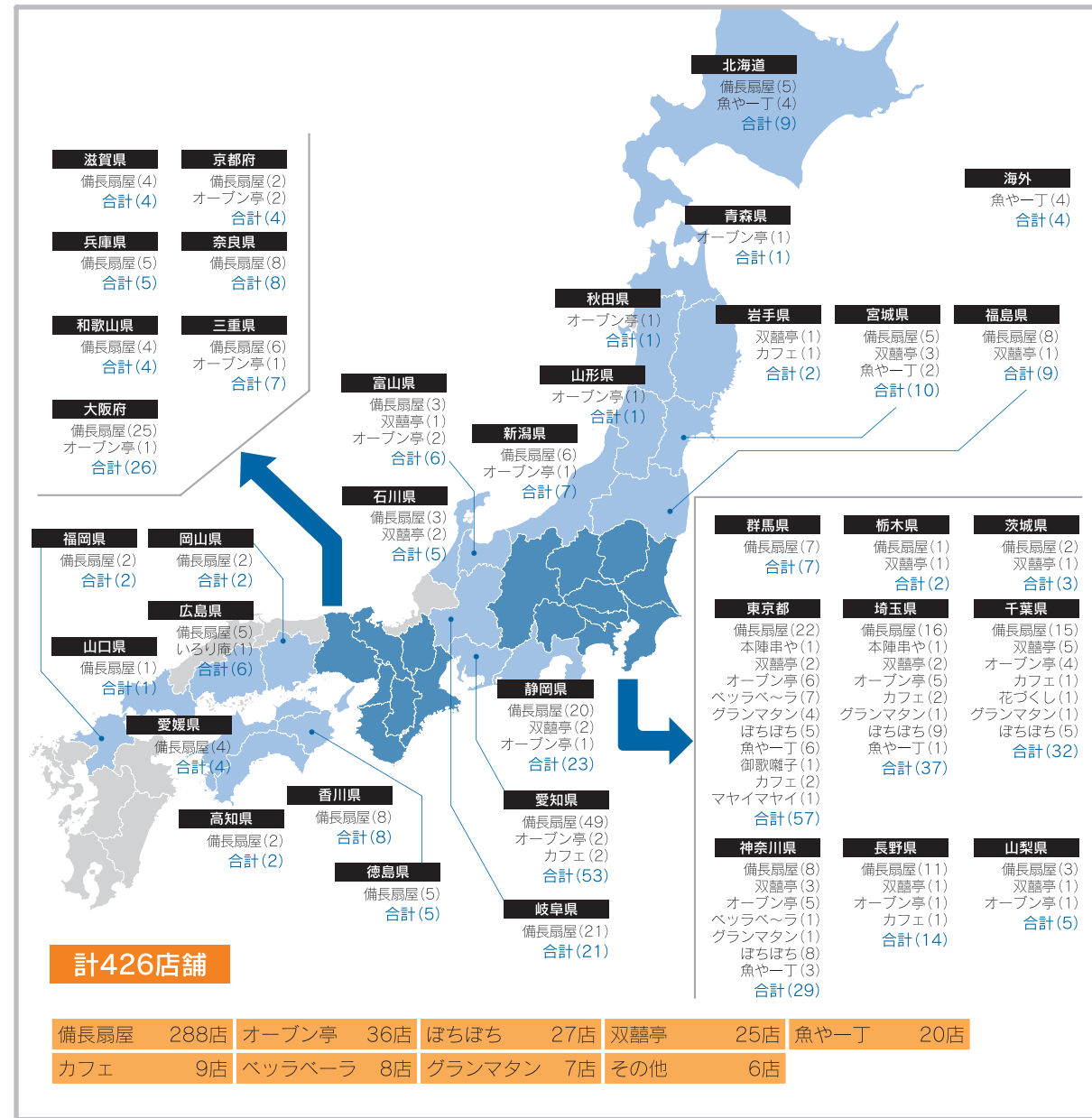
(億円)

	経常利益
連結	13.5

(億円)

外食事業・店舗展開

(2006年5月末現在)





株式会社 扇屋コーポレーション

OHGIYA CORPORATION INC.

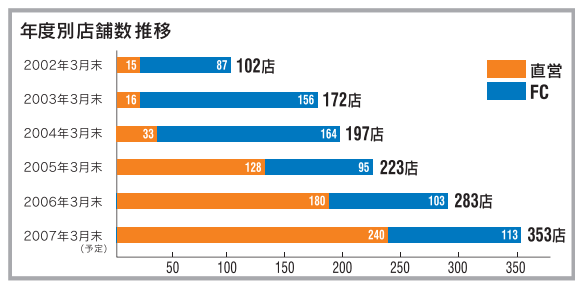
戦略着々 総店舗数300を計画どおり達成へ

焼き鳥居酒屋「総本家備長扇屋」は2006年3月末日現在、全国に283店を展開しています(直営180店、フランチャイズ103店)。2005年度の飲食業ランキング(日経MJ)によると、備長扇屋は売上高伸び率で12位(前年度ランク外)、売上高で116位(同128位)と飛躍しました。

私どもの成長戦略の基本は「元気な既存店(前年比100%を超えていること)」にあります。そのための商品戦略は「安心・安全な食材調達」と「備長炭焼きをコアとした技術研鑽」を軸に、備長扇屋ならではの商品開発と品質向上を図ります。

また新年度70店の出店に向けた戦略は、マーケット特性に応じた郊外立地と駅前立地を選定し、より効果的な出店を行うとともに、都心狭小立地への進出も視野に入れた出店余力の拡大に努めます。これからもドミナント形成と新商勢圏への積極的なアプローチにより、「2009年度・500店舗体制」の実現に向け挑戦し続けます。

代表取締役社長 大場 典彦





株式会社 フードリーム

FOODREAM INC.

ニュータイプのベーカリーブランドに注力

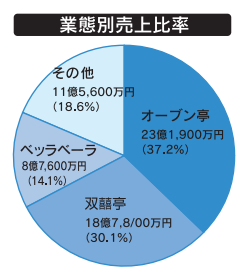
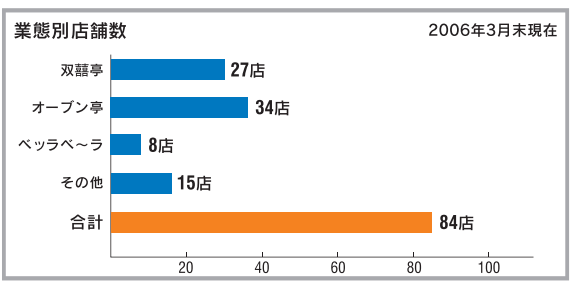
究極のレジジャーはショッピング。ショッピングセンターなどその集積地を主要な事業拠点とする当社は、マルチブランドの飲食店を目指しています。

当社の出店ブランドは現在7種を数え、どのブランドも消費者の多様なライフスタイルが生み出す多様なニーズに繊細機敏に 대응しています。

一方で消費とライフスタイルの多様化は常に新しい業態を求めています。これに応える形で当社では、ベーカリーストアブランドの「グランマタン」を新たに立ち上げました。フランス、イタリア、ドイツの多くのパンのなかから「これは本物」と認めたものを店舗内の特製石窯で焼き上げて販売する新しいベーカリー。今後、ブランドの確立と展開に力を注ぎます。

当社では身近な食べ物を最高においしく、お求め易い価格で提供するために、新たな業態の創出と業態変更主体のスクラップ&ビルドに積極的に取り組んでまいります。ご期待ください。

代表取締役社長 福井 基博





株式会社 ぼちぼち

BOCHI BOCHI INC.

マネジメント改革と差別化政策・収益力向上

大阪風お好み焼き「ぼちぼち」は、懐かしさと安らぎを与える昭和30年代の下町風店舗と、大きな鉄板で焼き上げる料理を楽しめる個性的な業態です。

当期の「ぼちぼち」は店舗収益力の向上に成果を収めました。経営資源の集中化と効率化、店舗マネジメント力の向上を推し進め、居酒屋ニーズに対応した鉄板焼き商品の拡充など積極的な競争力強化に打って出ました。店舗数は競争力をもつとも発揮する駅前立地を中心に一部三県で計9店を加え、地方4店の閉店またはグループ内業態転換を通算した当期末の陣容は首都圏27店となりました。

次期はサービス・調理の技術水準をさらに引き上げるなど、これまで以上にお客様の満足を獲得できるよう努めるとともに、タイムリーな新商品投入で平均売り上げの拡大も図ります。また「癒しの大地“アフリカ”」がテーマの新業態「MAYAI MAYAI(マヤイマヤイ)」もスタート、2006年4月には池袋に1号店がオープンしました。

当社は「鉄板焼き・お好み焼き居酒屋」業態のトップランナーとなれるように、さらなる挑戦を続けてまいります。

代表取締役社長 廣瀬 雅孝





株式会社 一丁

ICCHO INC.

新鮮な刺し身をベースに原点回帰

“ここ一軒で北海道”がキャッチフレーズの刺身居酒屋「魚や一丁」は2005年7月1日付けでヴィアグループに参画しました。2006年3月末日現在で直営15店、フランチャイズ6店を展開しています。

グループ参画を機に、一丁ではただちに既存店収益の強化策に着手しました。ランチ営業の強化、営業時間の延長、人時生産性の向上など多くの策を短期間で実行に移し、収益構造の再構築、収益力の強化を進めています。

今後さらに多くのお客様から支持を得られるように、商品戦略では「刺身居酒屋」の原点に帰ります。漁港直送の鮮魚と北海道産品を柱とする新メニューで競合他店との差別化を鮮明にする戦略です。

収益構造・収益力の改善を図りつつ、新規出店も積極的に実施してまいります。2006年度中規模店3店を皮切りに、中期経営計画の「2009年3月期40店舗体制」達成に向けて“ヴィアグループの「魚や一丁」”の新たな挑戦が始まっております。

代表取締役社長 大場 典彦





「情報加工企業」への転換が奏功

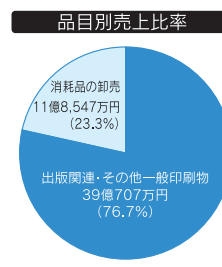
昨年、新しい情報加工企業を目指して新たな一歩を踏み出した当社は、いまや電子書籍市場で確固たる地位を築きつつあります。文芸書から写真集、コミックスまで、すべてのフォーマットでオーサリングができ、あらゆるデジタルメディアへの対応が可能です。大容量サーバーでデータベースを構築する効率的な取次業務も代行します。

アナログ印刷では、生産工程を一元管理するために従来の生産管理部門を発展解消して「プロダクツコントロールセンター」に刷新、より早く、より高品質の印刷物をお届けできるようになりました。

マーケティング、セールスプロモーション、商品企画、メディア運営など多様なニーズに応える「商業メディア事業部」、エコ商材および業務用消耗品の総合商事機能をもつ「エコビジネス事業部」など、各事業部が必要に応じて自在にコラボレートする当社は、クライアントのパートナーとして信頼度の高いサービスを提供しています。

今後も本物の「ワンソース・マルチユース」を実現できる提案型の情報加工企業として充実を期してまいります。

代表取締役社長 中野 二郎



笑顔づくりが仕事です

1986年の創業以来、ゲーム機器のディストリビューター事業を中心に活動してきた私たち日本システムは、エンターテインメントの広い世界に舞台を移してビジネスを拡大、さまざまな事業に取り組んでいます。

音楽・映像を利用した商品開発では、開発商品のインターネット通信販売など販路についても今後、広く可能性を追求することになります。また、大手アミューズメント会社とのタイアップで「リカちゃん」ブランドの子ども向けカードゲーム機の商品開発と販売を進めるほか、外食向けのテーブル端末の開発にも着手します。

当社は事業の全般を通じて、子どもからお年寄りまですべての方に笑顔、夢そして感動を提供できる存在であることを目指します。“笑顔づくりが仕事です”——もっと笑顔あふれる社会の実現に貢献するため、ヴィアグループの「遊」の担い手として、新しい発想で日々、挑戦を重ねてまいります。

代表取締役社長 阪本 節雄



ヴィアグループに加わった“デジタル・シェフ”

当社は2006年1月にヴィアグループに参画しました。これまでにカタログ、月刊誌、情報誌など印刷・出版物の企画・デザインをはじめ、クリエイティブ分野で実績を積んできました。

当社の特徴は情報のデジタル化から生まれるさまざまなニーズに対し、設備、技術、スタッフを揃えて十分にお応えできる体制にあります。DVD-ROMやCD-ROMで配布したい、インターネットで公開したい、新しいビジネスにしたい、制作コストを下げたい——さまざまなビジネスニーズに応える生産設備、オペレーションスキル、ワークフローを高い次元で理解するスタッフのどれもが、当社には揃っています。情報の取り扱いに対する企業ポリシーの証明として、プライバシーマークも取得しています。

培ってきたデジタルプリプレスの技術に最新の技術を融合した当社の課題解決能力を活かし、クライアントの要求に即応し、さらに新しい価値を付加するソリューションを提供してまいります。

代表取締役社長 利光 伸之



次世代にらむ2つのビジネスが発進

人口減少、少子高齢化の進行などマクロ環境の変化に対応した事業基盤の構築を模索した結果、健康分野への参入を図ります。その橋頭堡として、わずか30分、コンビニ感覚で利用できる女性専用会員制のサーキットトレーニングに着目し、米国・スリム・アンド・トーン社から日本におけるマスター展開権を取得しました。まず関東圏を中心に2006年度に5店舗、2010年までに100店舗体制を確立するプランです。会員向けにはアンチエイジング(抗加齢)をコンセプトとしたビジネスをリンクします。

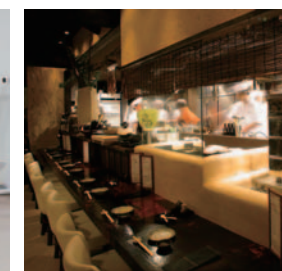
昨年8月に日本橋にオープンした居酒屋「御歌囃子(おかばやし)」のコンセプトは「団塊の世代のお父さんを今一度元気にして日本中をさわがせる居酒屋」。近い将来の「元気な高齢化社会」には、健康の維持、食べる楽しさ、コミュニティの拡大による生きがいの活性化——をお手伝いすることがビジネスの大きなテーマになります。

これら2業態をグループの中核を担う次世代ビジネスに育てるべく、ビジネスモデルの早期確立と店舗展開を進めてまいります。

代表取締役社長 横川 紀夫



スリム&トーン



御歌囃子

◆連結貸借対照表

資産の部			
科目	前期末 2005年 3月31日	当期末 2006年 3月31日	
流動資産	4,225	5,889	
現金及び預金	1,595	1,795	
受取手形	52	812	
売掛金	1,108	1,556	
棚卸資産	759	946	
前払費用	149	240	
未収入金	116	23	
繰延税金資産	375	263	
その他	89	273	
貸倒引当金	△ 20	△ 23	
固定資産	12,784	17,983	
有形固定資産	7,351	10,273	
建物・構築物	4,901	6,725	
機械装置	541	550	
車両運搬具	1	1	
工具器具備品	341	988	
土地	1,531	1,683	
建設仮勘定	34	324	
無形固定資産	2,032	3,170	
連結調整勘定※1	1,546	2,694	
商標権	289	257	
ソフトウェア	152	117	
その他	45	100	
投資その他の資産	3,400	4,539	
投資有価証券	432	418	
出資金	15	13	
敷金・保証金	1,719	2,751	
繰延税金資産	1,138	1,265	
その他	94	90	
繰延資産	6	11	
資産合計 ※2	17,017	23,884	

単位=百万円

負債の部			
科目	前期末 2005年 3月31日	当期末 2006年 3月31日	
流動負債	6,671	10,733	
支払手形	644	790	
買掛金	980	1,760	
短期借入金	3,572	6,069	
未払金	481	708	
未払法人税等	50	87	
未払消費税	144	163	
未払費用	384	693	
賞与引当金	115	204	
その他	297	255	
固定負債	6,279	6,877	
長期借入金	5,307	6,131	
退職給付引当金	171	170	
長期未払金	574	329	
その他	226	244	
繰延税金負債	-	-	
負債合計	12,950	17,611	

単位=百万円

資本の部			
科目	前期末 2005年 3月31日	当期末 2006年 3月31日	
資本金 ※3	2,000	2,640	
資本剰余金 ※4	1,963	3,343	
利益剰余金	74	245	
株式等評価差額金	29	45	
自己株式	-	△ 1	
資本合計	4,066	6,272	
負債・資本合計	17,017	23,884	

単位=百万円

◆連結損益計算書

科目			前期 2004年4月1日 ～2005年3月31日	当期 2005年4月1日 ～2006年3月31日
経常損益の部	営業損益の部	営業収益 売上高	14,591	28,349
		営業費用 売上原価	8,026	13,633
		販売費及び一般管理費	6,145	13,917
		営業利益	418	798
	営業外損益の部	営業外収益	60	324
		営業外費用	265	392
		経常利益	214	731
特別損益の部	特別利益	33	12	
	投資有価証券売却益	33	3	
	その他		9	
	特別損失	1,599	336	
	固定資産除却損	73	201	
	貸倒損失	535	3	
	減損損失	907	51	
	商品評価損	66	-	
	閉店損失	12	64	
	その他	3	15	
税金等調整前当期純利益			△1,351	407
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額			29 △1,446	167 65
当期純利益			65	174

単位=百万円

◆連結剰余金計算書

区分	前期 2004年4月1日 ～2005年3月31日	当期 2005年4月1日 ～2006年3月31日
(資本剰余金の部)		
I 資本剰余金期首残高	1,673	1,963
II 資本剰余金増加高		
1減資差益	1,463	-
2増資による新株発行	-	640
3株式交換による新株発行	-	740
III 資本剰余金減少高		
1資本準備金の取り崩し による繰越損失填補額	△ 1,173	-
IV 資本剰余金期末残高	1,963	3,343
(利益剰余金の部)		
I 利益剰余金期首残高	△ 1,714	74
II 利益剰余金増加高		
1当期純利益	65	174
2減資による繰越損失填補額	828	-
3資本準備金の取崩し による繰越損失填補額	1,173	-
III 利益剰余金減少高		
1連結初年度に伴う 剰余金減少額	△ 278	-
2役員賞与	-	△ 3
IV 利益剰余金期末残高	74	245

単位=百万円

◆連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前期 2004年4月1日 ～2005年3月31日	当期 2005年4月1日 ～2006年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	831	997
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,119	△2,894
財務活動によるキャッシュ・フロー	780	2,108
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△10
現金及び現金同等物の増減額	△507	200
現金及び現金同等物の期首残高	2,067	1,560
現金及び現金同等物の期末残高	1,560	1,760

単位=百万円

コメント

※1
株式会社日本システムとの株式交換、株式会社一丁・株式会社ワールドプランニングの株式譲受による増加分1,421百万円、当期の償却額285百万円の減少によるものであります。

※2
当期に実施いたしました上記の株式交換および株式譲受により完全子会社とした3社の資産増加ならびに株式会社扇屋コーポレーションが運営する焼き鳥居酒屋「総本家備長扇屋」を中心とした多店舗化による設備投資の増加2,592百万円を含んでおります。

※3
第三者割当増資1,600千株による資本組入れ分640百万円の増加であります。

※4
第三者割当増資および株式交換による増資分の資本準備金組入れによる増加であります。

コメント

※1
当期に、当社は会社分割を実施し、純粋持株会社となっており、分割会社に承継した資産および負債の減少であります。

※2
株式交換（株式会社日本システム）および株式譲受（株式会社一丁・株式会社ワールドプランニング）により完全子会社とした3社の株式の増加によるものであります。

※3
子会社に対する長期貸付金であります。

※4
子会社に対する一時的債権および債務であります。

◆単体貸借対照表

資産の部			
科目	前期末 2005年 3月31日	当期末 2006年 3月31日	
流動資産	3,290	3,103	
現金及び預金	805	260	
受取手形	52	-	
売掛金	683	228	
棚卸資産※1	696	-	
前払費用	109	28	
短期貸付金	505	-	
立替金※4	28	2,198	
繰延税金資産	330	147	
その他	91	238	
貸倒引当金	△ 12	-	
固定資産	9,325	11,607	
有形固定資産	5,214	2,704	
建物・構築物※1	3,006	1,019	
機械装置※1	515	-	
車両運搬具	1	-	
工具器具備品	200	9	
土地	1,462	1,462	
建設仮勘定	28	212	
無形固定資産	100	88	
商標権	64	60	
ソフトウェア	22	18	
その他	13	10	
投資その他の資産	4,010	8,814	
投資有価証券	377	329	
子会社株式※2	1,892	3,986	
敷金・保証金	590	112	
長期貸付金※3	-	3,243	
繰延税金資産	1,086	1,105	
その他	62	37	
繰延資産	5	7	
資産合計	12,621	14,718	

単位=百万円

負債の部			
科目	前期末 2005年 3月31日	当期末 2006年 3月31日	
流動負債	4,699	5,266	
支払手形※1	644	-	
買掛金※1	532	-	
短期借入金	2,874	3,669	
未払金	343	11	
未払法人税等	15	11	
未払消費税	78	-	
未払費用	174	149	
賞与引当金	22	3	
その他※4	14	1,421	
固定負債	3,844	3,200	
長期借入金	3,123	3,164	
退職給付引当金	112	3	
長期未払金	574	-	
その他	34	32	
負債合計	8,544	8,467	

単位=百万円

資本の部			
科目	前期末 2005年 3月31日	当期末 2006年 3月31日	
資本金	2,000	2,640	
資本剰余金	1,963	3,343	
資本準備金	500	1,880	
その他資本剰余金	1,463	1,463	
利益剰余金	78	233	
当期末処分利益	78	233	
株式等評価差額金	35	36	
自己株式	-	△ 1	
資本合計	4,077	6,251	
負債・資本合計	12,621	14,718	

単位=百万円

◆単体損益計算書

科目			前期 2004年4月1日 ～2005年3月31日	当期 2005年4月1日 ～2006年3月31日
経常損益の部	営業損益の部	営業収益 売上高※1	8,040	740
		営業費用 売上原価	5,279	52
		販売費及び一般管理費	2,533	553
		営業利益	227	134
	営業外損益の部	営業外収益	29	65
		営業外費用	185	173
経常利益		70	26	
特別損益の部	特別利益 投資有価証券売却益	29 29	2 2	
	特別損失	1,526	37	
	固定資産除却損	23	29	
	貸倒損失	528	-	
	減損損失	907	-	
	商品評価損	66	-	
	閉店損失	-	6	
	その他	-	1	
	税金等調整前当期純利益	△1,426	△7	
法人税・住民税及び事業税	△64	△278		
法人税等調整額	△1,440	116		
当期純利益	78	154		
前期繰越損失	△1,714	78		
減資による繰越損失填補額	541	-		
資本準備金の取崩による繰越損失填補額	1,173	-		
当期末処分利益	78	233		

単位=百万円

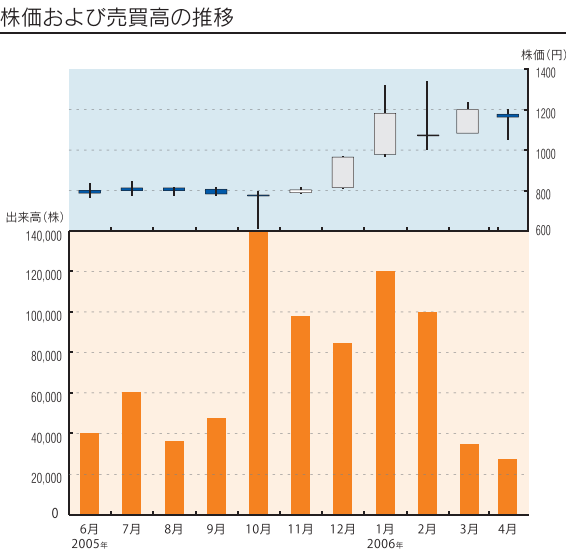
◆利益処分

科目	金額(円)
当期末処分利益 次のとおり処分します。	233,185,305
次期繰越利益	233,185,305

コメント

※1
当期より純粋持株会社となりました。

株式の状況 (2006年3月31日現在)		
◆会社が発行する株式の総数	80,000,000株	
◆発行済株式の総数	23,625,000株	
◆株主数	488名	
◆1単元の株式数	100株	
◆大株主		
株主名	持株数	議決権比率
横川 紀夫	3,125千株	13.23%
株式会社エム・ティ・ケイ	2,720千株	11.51%
株式会社エス・ジー・コーポレーション	2,500千株	10.58%
株式会社エス・エイチ・コーポレーション	2,020千株	8.55%
株式会社H・S・M	1,875千株	7.94%
株式会社W&E	1,875千株	7.94%
横川 端	1,850千株	7.83%
株式会社J・M・T	1,075千株	4.55%
茅野 亮	1,050千株	4.44%
横川 寛	1,050千株	4.44%



Corporate Identity



ネーミング

VIAとは、「Valuable & Imaginative Addition」の頭文字の略称です。直訳すると「価値の高い、創造力に富んだ付加」、言い換えれば「世の中により新しい価値を創造していく」という意味を表しています。またVIAという言葉は、英語で「～経由で、～を媒介として」という意味を、ラテン語で「道」という意味を持ちます。これらの意味を合わせて、VIAという社名に「私たち独自の力を通して、世の中により新しい価値を創造し、未来への道を切りひらいていく」という意志を込めています。

シンボルマーク

人類の叡智の結晶「ピラミッド」をモチーフに、「総合力」「結束力」「永続性」「上昇」「大志」を表現しています。またシンボルカラーの
V：「ブラック」は「宇宙＝秩序、創造」を、
I：「レッド」は「心＝情熱、思いやり」を、
A：「ブルー」は「水＝生命、知性」を象徴しています。

Group Philosophy (グループ理念)

心が響き合う価値の創造

- ◆私たちは、卓越した先見力とマネジメント力により、グループ企業の専門力を相互に高め、ノウハウを統合し、革新的なライフカルチャーの創造を推進します。
- ◆私たちは、顧客の「心のニーズ」に応え、喜びと感動に満ちた新しい価値のイノベーションに果敢に取り組みます。
- ◆私たちは、創造力・自立心・情熱を中心とした「人間力」を最も大切な資産と位置づけ、その力が最大限に成長・発揮できる環境をつくります。

Group Mission (グループミッション)

- ◆私たちは、顧客満足の最大化を第一の目的とします。
- ◆私たちは、オープンで公正な企業カルチャーの構築を通して、社員の生きがいや幸せの実現に努めます。
- ◆私たちは、取引先と公平で健全な関係を築き、お互いの大いなる成長を目指します。
- ◆私たちは、偽りのない情報の公開や安心・安全の確保、環境保護への配慮など、確固とした企業倫理を確立し、社会の一員としての責務を果たします。
- ◆私たちは、株主に対する利益還元増大と、株価の維持・上昇に努めます。

会社概要 (2006年4月1日現在)	
商号	株式会社ヴィア・ホールディングス VIA HOLDINGS INC.
所在地	東京都文京区関口1-43-5 新目白ビル4F TEL.03-5155-6801
代表者	横川 紀夫 三甲野 隆優
設立	1948年2月26日
資本金	26.4億円
従業員数	7名

役員 (2006年6月29日現在)	
代表取締役会長 (CEO)	横川 紀夫
代表取締役社長 (COO)	三甲野 隆優
常務取締役	正部 一行
取締役	大場 典彦
常勤監査役	河村 博旨
監査役	岩村 誠之
監査役	達本 明

当社グループの従業員数 (2006年3月31日現在)

事業の種類	外食事業	印刷・流通事業	その他	合計
従業員数	472人(1,831人)	158人(34人)	7人(10人)	637人(1,875人)

※従業員数には、使用人兼務取締役は含まれておりません。
※従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は1日8時間換算による年間の平均人員を()外数で記載しております。